夕刊 常磐新聞
八月十九日
發行兼編輯印刷人 伊藤勝次
發行所 福島縣平南町五九 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

本社 小名濱町古港一
◆支局所在地◆
平町材木町二〇
四倉町停車場通り
湯本町新校舍前
植田町金畑五

大漁場を目ざして 港內擴張工事に着手
はや起工式の準備も整ふ
躍進江名

曩に港內萬般の整備成つた江名港を此程更に第二種港灣として內務省が認可、愈々本年度から工費廿九萬圓五ヶ年繼續事業として港內擴張工事を起すことになり本年度は先づ內務省四萬圓縣四圓（地元寄附二萬圓を含）計八萬圓で所長關根氏技術長熊谷技手富務佐藤氏の陣容の下に本月末遲くも來月上旬には起工式を擧行するが江名町では協贊會を組織してその盛典を支援し地元漁業組合でも種々の趣向を凝らして祝福することになつた

平第四小學校 委員會

平町第四學校委員會は今十八日午前十時から同町會議室に開備され通學道路寄附交渉並に磐炭電柱移轉につき協議した

患者用人力者 購入
小名濱隔離舍で

小名濱町隔離病舍從來擔荷の設備なく傳染病患者の收容に戸板を使用する有樣であつたが此程擔荷代用の患者專用人力車を購入今十八日到着したので早速組立を了した

泉村吉川河口に 物凄いシヂミの繁殖
思はぬ收穫に浴客大喜び

泉村地內吉川河口には今年は珍らしく蜆、淺利の物凄い?繁殖を見て劍濱附近を訪れた海水浴客は手に／＼二三升位宛思はぬ收穫を待てホク／＼で歸る有樣なので同村消防組並に青年團では來年は大々的宣傳の上シヂミの名所として客を呼ぶべく計畫してゐるが同所は泉驛より約十五丁乘合バスの便あり一昨日第三日曜には植田、湯本方面より大バスで乘込む團体約三百名あり一般海水浴客と共に非常な賑ひを呈した

最近一ヶ年の 船員事務取扱數が 東北で第四位
數字が示す江名港の隆盛

最近一ヶ年間に於ける小名濱江名兩町の船員事務取扱狀況左の如く江名港は石卷海事部管下で釜石、氣仙沼、鹽釜、八戸に次ぎ第四位の取扱數を示し流石に郡下一の發錄船舶數を有する漁港として、面目躍如たるものがある、尙事務所は江名四十八件小名濱十三件となつてゐる

江名、船員手帳交附三二七件、移動公認一〇六七件、海難報告四件、小名濱 船員手帳交附六七件移動公認一六二件、海難報告三件

果樹組合視察 石城郡

果樹組合聯合會では今十八日各組合の十數名を內田郡農會書記が引卒し東京市神田市場の取引狀況並に神奈川縣下の果樹栽培視察を行ふ旅程は一泊二日の豫定

平局敗退
五局對抗野球

仙台遞信局主催縣下五局福島、若松、郡山、平、須賀川對抗野球大會は十六日郡山市に開催され平局も必勝を期して出場したが對郡山第一回戰に二對一で惜しく敗退した

落盤死で亡

磐崎村上湯長谷第二磐炭坑夫齋藤正雄(三三)は十六日午前十時同坑長倉坑第二斜坑で作業中落盤により重傷間もなく死亡した

又々町區民大會
湯本町政は何處へ?

復湯問題に端を發して內紛に內紛を重ねてゐる湯本町政のもつれが何時どう解決するか皆目見當がつかない折柄明十九日午後七時から又々町區民大會が開催される

大會は湯本町整骨醫會田富次郎氏主催で復湯工事を町區民の前に批判する由

ファン熱狂の野球戰 中島軍堂々優勝
小名濱部落對抗野球試合戰績

小名濱野球聯盟主催第十一回部落チーム對抗野球リーグ戰は去る十六日午前十時卅分、中町俱樂部對湊チームを皮切りに三試合を擧行されたが戰績左の如くベンチの一糸亂れぬ統制下にチームワークのとれた中島巨人軍が見事全勝し處女優勝杯か會長原金藏氏より安田主將に授與された

（午前十時半開戰）

古湊	3	2	0	0	0	0	0	5
中町	1	0	0	0	0	14	0	15

（午後一時卅分開戰）

中町	0	0	0	0	2	0	0	2
中島	1	1	0	1	4	0	2	9
古湊	0	0	0	0	0	0	1	1
中島	0	3	2	1	1	0	A	7A

同大會へ出場メンバー左の如し

	中島巨人軍	中町俱樂部	湊チーム
（投）	富永	大山	高津
（捕）	遠藤	草野	長井
（一）	鈴木	小磯	水野
（二）	江口	門馬	小野
（三）	安田	鈴木	齋藤
（遊）	阿久津	志賀	藥谷
（左）	小名川	熊井	一條
（中）	高橋	菊地	小野
（右）	柴田	小川	松塚

本社の質問に對する 小名濱町有志の回答

一、小名濱町發展策に關する貴下の御意見
二、貴下の銷夏法

回答　小野長壽

發展策との御質問に對し別段持合せも無いが抽象的に二三問題を捉ひ責めを塞ぐ事に致しませう巳に掲載された小名濱の先達とも云ふべき方々の名論高見もあるので徒に蛇足を添へた處で威服もしないが枯木も山の賑ひと云ふ事があるから。處で平和な町とか攪亂者或は人非人等の名句綴出何の意味だか不可解だか人間の居る所絕對議論なしとは六ツかしいと思ふ、平和町なごの御世辭であるまいか反對するもの又攪亂者とすれば卑屈者集團なら此種の恐れないかも知れない、一体少數勢力に威壓せられ縱橫論議せられず不平の鎭默決して眞正の平和でない許りか郷黨を發展せしむる原因なり得ないと思ふ、宜しく鄕黨の爲忌憚なく言論を戰はし正義を主張し町是の確立を計るべきである、自己の意見に反するもの攪亂者とすれば之れは何か錯覺から來る常識である人各々の見解を異にする比較檢討する處に進步があるのであるまいか、觀點の一致する處に公正妥當なる論據が見え出されるのである、神樣は何うい譯か同じ人間を作りても同じ考への人を多く作らないのは不思議である大に異なりたる議論の持主右顧左ベン卑屈なる沈默をせず大に議論したまい、是れ小名濱の發展策の一と考へるのである、私は小名濱の由來と云ふ事に多少の興味を持つて居るが小名濱の興亡史とも云ふべき記錄や文獻などが少くないので唯だ憶說又は口碑などがら考證して見ると半農半漁一小部落として相當永い時代を過ぎ居るご思ふ桃原夢裡に前濱と稱したる處は現漁港の埋立地附近石採り澤ならん、又小屋內今の榮町邊に最近まで存在せし堤塘は防波用の設備にして此邊にも小部落のありしものならん小名濱町は東と西より形作り部落をなし中央に及んだであらう作の觀音堂、又定西の鹿島神社何れも大同年度の建立と云へば其頃の人々の信仰が東西部落の史料として考察する事が出來よう、岩城氏の所屬となり文化の見るべきもいわり民心に力を出だし土民よく懷き其德を渴仰し小名濱及近村に磐城氏の名君の聞いある親高公を祭祀せる祉宇の今に存在するものあり其後伊達氏の勢力伸びて磐城一圓を併合して磐城百萬石の稱あり當時豐臣家との外交戰に破ぶれ遂に農家の領に歸したるのである、人口に會シャする磐城文林の茶釜一個が伊達家に對する引出物でありしと全くとんだ取引もあつたものと思ふ、其後內藤氏の封せられ其の有に歸し德川氏の直屬となるに及んで幕府代官所を設けられたのである。

家族を捨てゝ 情婦と家出
情慾に爛れた湯本の床屋

湯本町三函三一理髮業星正志(三六)は去る十一日午後五時頃商賣道具一切を賣却した現金三百圓を懷に父母妻子を殘して失踪した、妻タマの願出により平署では直ちに搜査を開始した

前記正志は本年一月より四月迄二本松野地眼科醫に入院治療してゐた當時某婦人と關係が出來たらしく妻タマさんの申出によれば恐らく同棲してゐるに違ひないと、尙正志は二人の男の子の中弟の進を連れてゐる

家出した 十九娘
東京に健在?

平町仲町佐川芳太郎長女一子(一九)は昨年十月無斷家出し家族は八方心當りを搜ねてゐたが最近東京市新宿局の消印ある音信が舞ひ込んだので昨十七日平署に調査方を願ひ出た

夏井川で 人命救助

平町研町電氣器具商吉田良三郎(三三)君は去る六日大浦村夏井川河口で弟良雄君と游泳中誤つて激流に捲き込まれあはや溺死せんとしたところ附近に釣魚中の平町五色町檜山健(五二)氏が發見着衣のまゝ救助したので今十八日平署では同氏の表彰方を縣に具申した

無錢飮食

小名濱町古港六十一土工飯野友太(三九)は去月廿九日下町三八料理店曾我トモ方で三圓余の無錢飮食をしたこと發覺、この程平署に檢擧

江名町折戸岸浦埋立地に 大ミール工場建設
漁業家魚肥製造家に一大福音

鰯揚繰網漁業發達に伴ふ郡下各濱の漁獲物製造加工は逐年隆盛に赴き海産製造業の中心となりつゝあるが著しい漁獲高の增大のため昨秋の各製造業者間には干場の不足から干返へしや天候の不良に原因する製品の不良と作業能率不振等を來たし斯業發展上面白からざる點が多々あつたので、過般來小野晋平氏發起の下に魚肥製造加工業の合理化を目的とする大ミール工場の建設が計畫されてゐたが、愈々具体化し一般漁業家並に魚肥製造家より事業提携希望者募集が開始された、事業の內容は

各製造家と特約提携し專屬工場を定め製造された鰯粕を生玉のまゝ一般市價で購入し之を江名町大字折戸字岸浦埋立地內に建設のミール工場で加工するもので鰯揚繰船漁業家とも提携建設資金貸與其他の便宜を計るもので之により干場不用工賃安價多量製產、金融の圓滑等の特典あり水產加工業上革命的の大事業として注目されてるが特約希望者は此程至急申込まれたしと

とんだアバズレ女 『女給はやめぬ』と
父親を泣かす

平町南町カフェーナナ事太田ヤス方女給きみ(三三)は昨年十一月無斷で鄕里茨城縣日立町を飛び出した不心得娘であるが最近父親善作さんは娘の居所を突止めたので再三歸宅をすゝめたが貧乏暮しは嫌、女給の方がよつぽど面白いと歸宅せぬばかりかわざと四十圓の借金をでつくる始末困り果てた父善作さんはやつと三十圓の金を工面して昨十七日平町に引取りに來たがそれでもきみは歸宅を拒むので何とか說諭して下さいと平署人事相談係に願ひ出た

四倉浴場で 謝恩福引デー

四倉海水浴場賣店組合では來る廿六日謝恩福引デーを催す

出奔した女房は 酌婦を?

伊達郡森江野村農芳治郞妻佐久間ツイ(三六)は多少精神に異常を來し家人もそれとなく警戒中であつたが本年三月ブラリと家出したまゝ所在を晦ましてゐたところ最近平で酌婦をしてゐるらしく夫から搜査方を平署へ願ひ出た

（街の噂）

青春の血に疼くトラック運轉手の行方不明(?)で、茨城縣から湯本町に送られて來た西瓜の山が余儀なく街上に立往生してしまつたところ、洋品店の主人公の操從で無事買主に送り屆けられたといふ愉快な話――

去る十三日茨城縣鉾田町某青果問屋が湯本町及び內鄕村方面よりの注文西瓜約三〇〇貫をトラックに滿載！で發送したが、湯本町に着いたのが折惡しく十三日の深更だつた。そこで運轉手外二名はとにかくトラックの中で夜明けを待つことにしたが、しかし納まらないのは運轉手根本義雄君(二五)假名…である。つひふらふらと足は妖しげな方面に動いてしまつたのである。そころが夜が明けても、太陽が高く昇つても、この運ちやんは歸らないのだ。困つたのは殘された二人の附添人である。途方に暮れてゐると、それを耳にしたのが湯本町橫町仙台屋洋品店事村上金平氏であつた。驅けつけて來て、では一肌ぬいで上げませうとばかり運轉臺に上りハンドルを取つたものである。しかも見事な操從振りであつた。無理もない、しよう洒な洋品店の主人ではあるが、氏こそ湯本町消防組自動車ポンプ運轉係を双肩に擔つてゐる免許狀の持主なのであつた。

濱だより

（八月十八日）小名濱魚市場調査

魚名	魚獲高	單價
かつを	四九六六本	三一—四〇
かぢき	七〇本	六〇—一〇〇
はも	二〇〇貫	五五
たい	五五貫	一六〇

◇天氣豫報◇
今晩 北ノ風晴レ
明日 北ノ東風晴後曇（溫度降ル）
平均溫度 二二度八分

◇小名濱干滿時間◇（十九日）
滿潮（前五•〇〇 後五•四五）
干潮（前一一•三 後一一•五）

豊間村 ㊅大敷網事務所

小名濱町 磐城座支配人 小野直千賀

江名町 江名信用販賣購買利用組合

江名町 江名漁業組合

小名濱消防組頭 松本德次郎

小名濱西洋料理業組合

水野技藝女學校長 水野ヒロ 小名濱町

小名濱藝妓屋組合

銘酒養老醸造元 草野艮太郎

小名濱町 小名濱信用販賣購買利用組合

江名町會議員 吉田權右衞門

江名町 漁業海產物 吉田長八

醬油吟醸 泉村瀧尻 上遠野商店

泉合同運送店代表 小林元藏

泉村長 江尻博孝

泉助役 松井淸水

有閑文字【三】

踏晦散士

日本は年々約百萬の人口自然增加する。
人口は增加の一途を辿るが土地には制限がある。
勢ひ國外に向つて人口のハケ口を――移住植民せねばならぬ。がしかし國内の人口飽和狀態をヨソに所謂内地――日本國内に生き死にせうとして、有爲の若人まで、内地にヘバリついてゐる。
世界の青山綠水は胸を開いて若人の活躍を待望するけれども、彼等は、祖先の生き死にした祖國にとゞまるべく余儀なくされるのだ何のために!?
世界が擧げて總排日本だからだ。世界的孤立日本の有樣だからだ。
國運民命非常展開の血路は、國策樹立の一途は、一にかゝつて移殖民政策の確立にあるのだ。

×××

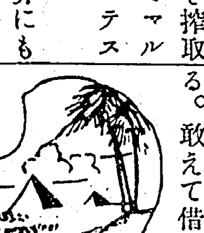
一切の闘爭は、「均平を得ざる」より、また「機會均等」を得ざるより、「不當、不正なる壓力――資本的强力的其他の力より」惹起される觀がある。
ムツソリニは何のためにアフリカ砂漠地たるエチオピアに大軍を動かしたか!?
ヒツトラーは何が故に殖民地奪還――大戰條約不滿を絶叫して――を策するか!?
日本は、また何が故に、大陸政策のために死力を傾けるか!?
過去、並びに現在の不當不正なる壓力を押し除けて均平を得る、均等機會を熱望する國意民心の爆發のためではないか。

×××

かつてローマ法王の不當不正なる貪婪あくなき搾取、獻金要求を絶排してマルチン、ルーテルのプロテスタント運動となつた。
卽ち神聖なる宗教界にも經濟問題を織り込んだ闘爭がそれだ。
況んや闘爭の權化にも似た、政治團体、階級對階級間、並に資本系統を異にする經濟團体間に於て、すさまじい闘爭の展開されるのも仕方ない。
更に、民族間、人種間、男女間等に種々の形式――戰爭、闘爭、紛擾等が起きるのも仕方あるまい。
しかしながら敎信徒の純眞なる信仰を冒瀆して、獻金を强要し、寄附を要求し更に甚しきに至つては
「神の愛信者の妻に手を出し」
「佛のなさけ檀家の後家をたらしこむ」
が如き神佛冒瀆の宗敎人ありとすれば――石城の宗敎人はみなた立派な人達の樣だが――讀者諸君どう考へる。敢えて借問候。

たそがれ

矢島大助



黄昏の窓によつて
けふもはるかな
うすむらさきの山脈をみ
つめてゐる
すべてを忘れて
何時までもこうしてゐた
いのだけれど――
なつかしい山脈よ
お前はいつも私のやさし
い母さんだ。

想ひ出の濱邊

鈴木昇

一、夜の濱邊に照る月を
眺めて今宵も只一人
過ぎし二年あの夏の
戀しき君は今何處
二、夜の濱邊に照る月を
眺むる瞳に宿る露
夜半の月の風寒く
輕き袂を吹きさらし
三、夜の濱邊に照る月を
眺めて今宵も忍び泣き
漁火消えて月隱れ
泣いては明かす夜もすがら

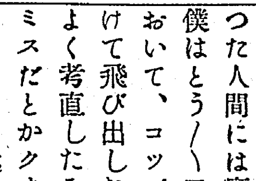
とうきび畑

田端弓子

小さめ降るとうきび畑を過ぐるときひぐらしなけり椎の大木に
夕空はあかねに燃えて南縁の硝子の鉢の豆腐赤しも
背戸口の朝蔭涼しきざくろの木その下にねて梅酢のみける
山百合のつぼみの光り青々し明日より秋に入らんとする今日
二つ三つトマト屋台に賣れ殘り夜店通りは人まばらなり

與太は亂れ飛ぶ

投稿歡迎



△一寸、金持と云ふ奴は金と心にユトリがあるかと思ふと、とんでもない大違ひ金はあればある程汚なくなる樣子で金の斷になると血相迄變る人が多いようだ、だから金持ちになる事は一種の病的でやはり因果的のものと見える。そこへ行くと貧乏人は有難い、金を使ふ事に一種の誇りがある友人の一人二人も來ようもんなら、仕事などは休んで算段しても酒の一升や二升は飲む、それかとゆうて日に三度の食膳には魚も載れば肉も食ふ、而して金持よりは貧乏人の大きな單呵も切れば、いつも淸水で尻を洗つた樣なサツパリした氣持で居れる、はてな俺は考へさせられる、そうすればどつちが良いか、金持希望非か貧乏可か、梅にも愛惜があれば櫻にも未練がある如く面倒だ、ヤツパリ飲む事が俺の人生處世法にしようか。（小名濱聖人）

△此の前の日曜日、○○○○の千惠子に逢つてたまげた、例の人氣投票で大分騷がれてゐるのですゐぶんたのしみにしてゐたもんだ。處がどうだ、千惠子さんに一寸と申し出てから十分もすぎてやをら立ち現れ、しかもフンと木で鼻をかんだやうなご挨拶だつた、なんぼサービスコーヒ一杯の客だつて、平から出かけて行つた人間には癪で仕方ない僕はとう／＼二人の友達をおいて、コツプをたゞきつけて飛び出した、があとでよく考直したことである。ミスだとかクキーンだとか云つてみた處結局は小名濱だつたんだ、と。（平T生）

△（續き）又一說には彼女を「螢のお尻」にたとへる失禮な人種もあるらしいがこれは光があつて熱がないといふ意味なそうである程度まで美人と云ふことを承認してるから滿更惡口とばかりは請取れない
巴舘前十錢のお尻二八重子の御自重を祈る次第――
ミス小名濱第三位となると一寸格が落ちるやうな氣もするが當の惠美子は　なか／＼そんなもんぢやない早い話が末廣のボツクスに御輿を据へて見給へ、
つゞく
（與太俱樂部會員）

みやげ話

吉村生寄稿【四】

◎臺灣に珍らしい植物はありませぬか

臺灣の珍らしい植物は專門家に云はせましたら隨分ありませうが素人の私は只大槪の處を申上げます前に申した外に左の植物があります

びんろう樹、之れは南洋植物で皆さん南洋の寫眞なご御覽になれば必ず傘を開いた樣な幹の眞直で長く其先に一箇所の周りにシユロの葉の樣なのが傘の樣に開いて居る木がありませう其れが「びんろう」です其の葉の出た根本に鈴の樣に生て居るのがびんろう子（實のこと）で臺灣南部の人は之れを嚙むんで歯を黒赤く染めて居ります之は歯が大層丈夫になると申して居ります。

椰子、椰子も南洋より移植したのがありますが未だ余り澤山にはありませぬ。

「ツイザルペンプ」南洋移植である臺灣南部に盛に栽培して居ります之れは例の「マニラ」ロツプの原料になるのである此纖維ではたき「ハタキ」椰子等を拵らへて賣つて居るが盛に賣れます近來內地にも移入して居ります。

林投、林投は臺灣全島至る所の中地に無盡藏に野生しあります「シユロ」科に屬する植物で其葉にはトゲがありまず此葉の纖維を漂白して純白として之れにて夏帽子を製造する會社がありますが之れが即ち林投帽であります。

蛇、木之れは山中にある木で一寸我内地の「鬼ゼンマイ」の大きい樣なものでう丈は一丈五六尺に及ぶものもあります、其形は傘を開いた樣に一箇所から四方に開いて居ります葉の形は鬼ゼンマイの開いたものと似て居ります年々葉の落た跡が蛇の鱗の樣になつて居りますから蛇木と云ふのですが之れを花生又は筆筒等にすれば其鱗形が大層見事で賞美せられます。

黒柿、黒柿は台灣の恒春地方の山中に野生にあります、昔は隨分ありましたさうですが今乱伐又は山燒等の結果若木計り至る所にあります、黒柿の實は少さな鷄卵大で白毛か一面に生てをりますが形は柿であります、台灣人は之を毛柿と申します之れで造る種々の製作品は內地の黒柿と異はありませぬ。

暑中御伺

泉村會議員　水野德次郎
米穀 海産物商　菅原勳商店
小名濱町會議員　高木惣治
植田町　小濱採鮑組合
小名濱町 學校醫　久保田眞
小名濱町 淸壽の湯　善方長作
玉川村小學校長　石井定衛
小名濱町 自性院住職　竹村智蓮
植田町 鈴木眼科醫院　鈴木凞
小名濱町 水道課長　鈴木貴義
小名濱町 海軍班長　小川爲八郎
小名濱登記所 居司法書士　金澤勉
小名濱料理業保健組合
木材製材業　内山治七
漁業　酢屋　野崎貞行

金時バー自慢の
江戸前御壽し
大衆向食堂　金時バー
小名濱町中島通り　電話十二番
●出前迅速●

□□□□□□七夕祭飾付材料
飾玉提灯。大小判色紙。吹流用ワク大・中・小。虫玉。テープ各種。ラツキーモール久壽玉（四寸ヨリ二尺マデ）パラピン製折紙。久壽玉用カゴ（尺ヨリ三尺マデ）
其他御註文に應じ如何樣の形にても出來ます
食料 敎育 玩具商　武藤玩具店

自動車の御用命は
親切第一の
平タクシーへ！
平町二丁目横町　電七九番

□□□□店員募集
年齡十五才より廿五才迄の壯健なる男子に限る
小名濱町古港　綠屋醬油店　電話二十九番

◎◎◎氷水種は
金天狗印に限る
眞の果實よりシボリ採つた
風味と滋養に富む果汁
小名濱町一手販賣
弟子丸商店　竹町

味噌醬油釀造元 和洋酒問屋
佐藤仲商店
四倉新町　電話四一番

齒科診療開始
仲の作に齒科診療所が出來ました
今般齒科醫師伊藤秀雄氏を招聘致し仲之作郵便局隣に齒科診療所を開設致しました
何卒從前通りの御後援を願へます
毎日正午より夜十時まで
江名南町　山村齒醫科院　日大齒科醫學士 山村哲衛
中之作郵便局隣　中作齒科診療所　東京齒科醫學士 伊藤秀雄

營業品目
船陸諸機械修繕
酸素溶接切斷
石油タンク煮干釜
リヤカー其他
火造一式
(山) 山下鐵工所
福島縣四倉町字志津
山下房松

愈々本日から大々的大見切奉仕品
御案内
淸涼着　婦人 ¥50 均一　子供 ¥20 ¥30 ¥50 均一
婦人洋傘　¥150（市價2.30）　¥200（市價2.80）　¥250（市價3.30）
▼……其ノ他御子樣帽子等々
ツルヤ
平四　電話一四〇番

淸新の氣に充ちた
カフエー
ヤスベー
辨天横町

創業以來茲に二十年皆々樣の深甚なる御引立に相成り誠に有難く厚く御禮申上ます
私は創業前東京技藝校を卒へ造花の硏究を致して居りますが未だ一人前の藝術家として立つ事が出來ず御滿足を與へる事が出來ません。此後皆樣の御指導の下に一層硏究致し度御批判の上御引立御鞭撻下さいます樣切に御願ひ申上ます
店主　山田信次
■祖先崇拜は家庭繁榮の礎■
祝 造花 弔 調製
山光堂
平四丁目局通り　電話五五〇番

◉お盆の御用意は！
佛壇
佛位牌塗
金物佛具品
取揃へて有ります

電話高價買入れます
小名濱町中町
加藤屋百貨店